

活動の前はゆるやかに伝え、 活動後は振り返り、「価値付け」する

ガイダンスはどのような観点で行うか

「社会人基礎力」を高める教育プログラムを実施する場合、学生にその意味を理解させるガイダンスを行うことはよくあります。例えば、1・2年次に対するガイダンスでは、

- ・ 将来社会に出て働くに当たって、重要になる力は「社会人基礎力」である。大学の4年間はそれを高めていく期間でもあり、大学のさまざまな活動で高められるということを伝える。

- ・ そのために、身の回りの活動の中でどのようなことをすればよいかを考えさせる。
- ・ キャリア設計教育として将来を考え、将来のために大学時代に何をしたらよいか考えさせる。

- ・ 学習への相乗効果を狙って、大学で主体的な学習を行う際にどのように発揮されるのかを考えさせる。

- ・ 「社会人基礎力」は、大学生活そのものを充実した、楽しいものにするためにも有効でもある。そこで、「社会人基礎力」をスキルと考え、友人をはじめ周りの人との人間関係がよくなるといった、充実のさせ方について考えさせる。

などの内容が考えられます。

また、実習やインターンシップなど実践や体験を伴う活動や、学生が人と関係してこそより生きてくる活動場面の直前に、「社会人基礎力」とは何か、その発揮について考えさせるワークショップ形式のガイダンスをしておくことは、それらの活動の教育効果を上げるのに有効でしょう。また、半期のキャリア教育の中で「社会人基礎力」の理解を促していけば、活動そのものが長いガイダンスとなり、授業も学生生活も一層充実させる取り組みになる可能性があります。

2年次後半や3年次では、キャリア教育科目の中で、間近に迫った就職活動とは何か、そのためにはどのようなことをするのかを考えさせる中で、「社会人基礎力」とは何かを理解させ、それを発揮することで就職活動を成功に導き、さらに将来社会に出てからもよい仕事ができることを伝えることも有効です。

ガイダンスはプログラムの途中、またはプログラム後に行うのが効果的

ある科目で「社会人基礎力」の育成を行う場合、授業の初回でガイダンスを行うべきと

考えられがちですが、実はあまり効果がないという声を聞きます。というのは、そもそも初回は授業自体のガイダンスとして多くの情報が一度に学生に伝えられるので、そこで「社会人基礎力」の説明と一緒に聞いても、学生の印象には残りません。また、具体的な活動もしないで言葉だけ伝えられても、実感がわかないかもしれません。数回、または半分くらい活動を終えて、活動を振り返るときに初めてガイダンスをする方が、むしろ有効であると言えます。

（この前項で紹介した跡見学園女子大学マネジメント学部では、教員は半期のプロジェクト活動を終了してから初めて「社会人基礎力」の存在を伝え、自分達の成長を「社会人基礎力」の言葉で振り返らせました。学生は、自分達の成長を実感したからこそ、「これは、『社会人基礎力』の『柔軟性』だったんだ」と腑に落ち、その後の就職活動の面接などの場面でも、自分の言葉として使いこなしています）

伝えるときは、教員自身の言葉で

「社会人基礎力」は、能力や資質、姿勢といった「力」ではありますが、同時にそれを表現する手段として使っている言語です。ですから、能力要素としての言葉だけが独り歩きすることは注意しなければなりません。2章の第四ステップの「価値付け」としても紹介した、大阪大学大学院の北岡康夫教授や東京女子大学の今村楯夫教授のように、教員が「社会人基礎力」をこれまでの経験を踏まえ、全人格的に受け止めて伝える必要があります。それと同時に、学生の実験の体験の中で能力が体感され、言語で問い直されることで、能力に理解が進むのです。さらに重要なのは、言葉ではなく、力として発揮することです。

その力は、学生の主体性や能動性があってこそ、初めて伸びるのです。学生の状況やタイミングの判断を間違えたり、教員が「社会人基礎力」を自分自身のものとして受け止めないまま伝えたりして、学生に上から強制されたものとしての印象を与えることは、むしろ学生が主体的に高めようとする気持ちを阻むことにもなりかねません。

したがって、「社会人基礎力」の言葉を伝える際には、伝える教員自身の言葉として伝えられるか、あるいは、学生が主体的に能力の発揮ができる取り組みがいかに準備されているかの検討が必要です。

どのレベルまで伝えるかも重要

学生に「社会人基礎力」をどの階層まで伝えるかにも検討が必要です。

「社会人基礎力」には、3つの階層レベルがあります。「専門知識」「基礎学力」「人間性・基本的な生活習慣」と並ぶ上位レベルの概念。続いて、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の「3つの力」で表現される中位レベルの概念。さらに、「12の能力要素」で表現される下位レベルの概念です。特に、下位レベルまで伝える際は、教育プログラムの中で該当する力の発揮や育成の場面があるよう留意されていることが必要です。その意味で、プログラムの最初にガイダンスをする際は、上位レベルを軸に、社会で働くとは何なのか、これまでの生活の中で、どのような力を学び、使ってきたかを改めて考えさせることを中心にするのも一つの方法です。

上位・中位レベルの表現では、対象が広く、さまざまな解釈がされやすいでしょう。特

に、「社会人基礎力」と聞いたとき、例えば専門知識を実践に生かすスキルの部分を想起する人もいれば、誠実さを大事だと言う人もいるでしょう。しかし、「社会人基礎力」は、知識を応用して実践に用いたり、人と共同して大きなものや価値を生み出したりするための力であると理解され、「社会では必要なんだよ」「人間が生きるのには大事なんだよ」と伝えるのであれば、解釈に多少の差はあっても、ポイントは伝えられるとされます。「社会人基礎力」は、そのような広義の解釈から始まり、それぞれの人の主体的な活動の中で、理解が深まっていけばよいと考えているわけです。この程度であれば、プログラムの最初に伝えても学生に伝わるとされます。

逆に、下位レベルの「12の能力要素」では、対象は明確化し、教育したり評価したりするには、扱いやすいものになると思われます。このことが「社会人基礎力」の強みであることは確かですが、意識付けと発揮をあまり強く求めることは、むしろ時間をかけて主体的な試行錯誤の中で深まっていくような「主体性」や「創造力」などの力を伸張させづらいものにしてしまう危惧もあるので、注意が必要です。

どのタイミングで、どのような内容として「社会人基礎力」を伝えるか、つまり「社会人基礎力」が重要であるところのように価値付けていくのかには、さまざまなケースが想定されます。「12の能力要素」については、言葉だけを独り歩きさせず、学生がある程度経験を重ねて、自分の行動と結び付けられるようになった段階で伝えていく、つまり価値付けていくことに配慮すべきと考えます。

宮城大学の「振り返り」と

目標作りのガイダンス」例

——社会人基礎力を大学生活で生かしていくために

ここでは、宮城大学事業構想学部が、平成20年度に1年生の基礎ゼミの終了段階の一コマを用いて行ったガイダンスを紹介します。

この基礎ゼミは、学部全体の必修科目として、学部の4年間に行う学びの技法などを習得しつつ、学習の動機付けを行い、「社会人基礎力」も発揮させているものです。このガイダンスは、平成19年度の社会人基礎力育成・評価事業の事務局としてリファレンスブックの編集に当たった河合塾が、キャリア教育の考え方をを用いて、振り返りの場を設定する際の考え方として、「社会人基礎力」を紹介したものです。

ガイダンスはワークを中心に

「社会人基礎力」の説明を一方的に聞かされるだけでは、学生の理解や定着は進みません。そこで、ガイダンスにワークを取り入れ、実際に手を動かして自分の具体的な行動を考えさせることで、「社会人基礎力」を自分のものとして捉えさせるのがよいと思われます。グループでの活動が中心のPBL型の授業であれば、活動の中間地点で、ガイダンスとグループでの振り返り活動を組み合わせて実施することもできます。あるいはここで行ったように終了段階で行って、以後の生活で発揮していくよう促すのも一つの方法です。また、大講義室で行う大人数の授業であっても、個人のワークであれば可能です。

導入

社会人基礎力を知らない1年生に、社会で必要とされる力を就職活動や将来と結び付けて考えさせる

1. 世の中で求められる能力とは何かを知らせる

学生達は、「社会人基礎力」という言葉をまず知りません。それ以前に、そもそも自分の能力というものを、じっくり考えたことがない学生もいるかもしれません。長所、短所という言葉は知っていても、能力という視点で自分を捉えることになじみが薄いでしょう。そのためまず、なぜ能力ということに着目するのか、世の中では

スライド③

自分が今ががんばっていることを書いてみよう	
1. 自分について振り返り書きしよう	
① 今、自分がおこなっていることとは何ですか。得意な事をあげれば書いてみてはいいけれど、それは得意です。	単語ではなく、何をしてどのように頑張っているかを具体的に書くこと
② 今、おこなっている目標は達成していますか。いつ頃までには達成したいですか。	「頑張っている」とのことについては、必ず「目標」をセットで聞かれます。「うちから目標達成」とのことか明確であることを重要。
③ 今、目標を達成するために、今、あなたに必要なのはなんですか。これ、かきつけてくれる要素や事柄に何か、知識などはありますか。	向上心を高めるものごとに取り組む姿勢を示すこと。自覚的に何に気を付けているかでもよい。
④ 達成した今、本当にして欲しいこと、かきつけてくれる、具体的に書いてください。	ここは本音書きで書いてみよう。頑張ります、頑張りを込めて褒められることは、自分と向き合ってみよう。

ワーク１ 社会人基礎力の説明

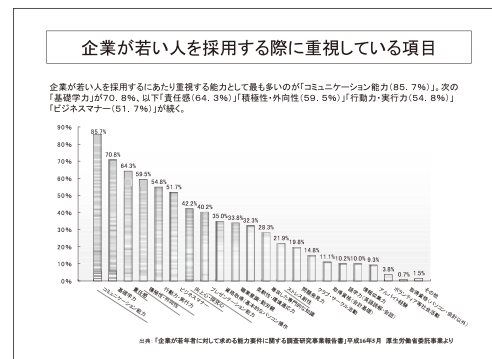
自分の長所や不足している点などを現状認識させる

り、そのためにはどのような能力があるのか把握しておく必要がある。だから、書くことを通して、前述のグラフに挙げたような能力で自分を捉えてほしいと伝え、さらには能力の発揮まで意識させました。「能力の発揮」と「書くこと」を心掛けることが、その後の大学での人間関係などさまざまな活動を積極的にさせるなど、大学生的学习をより豊かにしていくことにもつながることを伝えておきます。

3. まず自分の現在の行動を振り返らせる

今頑張っていること、それをさらに進めるために、何を目標としているのか、また何が必要なのかを具体的に書かせました（p355 ワークシート①参照）。これを、自分を知る、最初のステップとしました。

スライド①



どのようになっているか、能力として整理されているか、ということとを理解させる必要があります。

そこで導入として、就職活動にイメージさせ、企業が求めているのはどのような力を持った人だということを示しました。

ここでは、企業が若い人を採用するに当たり重視する能力のグラフを提示しました。

最も多いのが「コミュニケーション能力（85・7％）」。「次の「基礎学力」が70・8％、以下「責任感（64・3％）」「積極性・外向性（59・5％）」「行動力・実行力（54・8％）」「ビジネススマナ―（51・7％）」と、具体的にどんな能力が社会で求められているのかを示し、将来必要となる能力について

て、イメージさせました。

学科の専門に合わせて、例えば「IT技術者には、こんな能力が求められている」というデータを提示してもよいでしょう。

2. 自分をきちんと表現することの重要さを伝える

就職活動のエントリーシートを話題として、自分のことを説明できることが重要であることを伝えます。例えば採用の際に、エントリーシートを通して企業が見るのは以下の3点であり、このことを具体的に書かなければならないと伝えます。

① 大学時代に、心に残る経験をしてきた。

スライド②

これがエントリーシート！！

■学生時代の活動の中で、あなたが自身ががんばりを入れたものについて、何を、なぜ、どのように行ったのか、またその活動を通して何を待たのかについて具体的に説明してください。
(多数の企業)

■あなたが学生時代に力を入れたことを挙げてください。(3つまで)
→その中で最も力を入れたことを1つ選び、(1)と(2)の質問にお答えください。
(1)その内容と、取り組んだ理由についてお書きください。
(2)取り組むにあたり苦勞したこと、そこからあなたが得たことについてお書きください。
(大化学系メーカー)

■あなたが学生時代でどのような目標を持ち、何に挑戦し、それを実現しようとしたか。
また、そこで得られたあなたの専門性や能力、強みとはどのようなものでしょうか。
(大化学系メーカー)

■あなたが自信を持って語ることのできる成果(最も力を入れたこと)を箇条書きで書いてください。
→その成果の中で代表的なものを具体的に書いてください。
(内容、規模、あなたの役割、あなたの行動、得たことなど)
(大手精密機器メーカー)

②その経験から、自分自身の視野を広げている。

③その経験を相手にきちんと説明できる表現力がある。

ここでのポイントは、就職活動そのものを考えるのではなく、自分のことを「書いて表現する」ことに着目させることです。書くためには、自分を知る必要がある。

4. 社会人基礎力について簡単に触れる

「『社会人基礎力』は、『職

スライド④

[illegible]

『社会人基礎力』は、『職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要とされる力』であり、これを使って、自分を振り返ると、自分のことが理解できる」と解説します。「12の能力要素」についてはここでは説明せず、大きく捉えると3つの必要な力があるということを説明するにとどめました。

5. 自分の社会人基礎力は実際にどのくらいか、チェックシートで確認してみる

チェックシートでは、例えば「主体性」であれば、「先生から指示されなくても、気が付いたことは自分からやる」といった答えや、**すい**質問を用意し、YES/NOでチェックさせます。このチェックシートの項目は、大学として、または学部学科として検討した能力の定義に照らし合わせたものが望ましいと思われます。これらの項目をチェックすることで、能力への意識を持たせると同時に、ど

- ・ Step3 上記の1・2を踏まえ、学習活動や日常生活での、自分を妨げる行動傾向と向き合おう
- ・ Step2 現在の自分の強み・弱みを知り、「社会人基礎力」の向上を妨げる行動傾向と向き合おう
- ・ Step1 自分が今、力を入れていることや楽しいことを思い起こし、自分の未来をイメージしてみよう（「社会人基礎力」に関する振り返りや行動改善の計画作りなど、全ての前提となる）

7. 将来の目標やイメージなどを描き、その実現に向けて現状を把握し、問題点に気付かせる

自分を成長させるためには、活動場面を振り返り、気付くことが一つのきっかけになります。そこで、キャリア設計教育の考え方を活用して、将来の目標やイメージなどを描き、その実現に向けて現状を把握し、問題点に気付かせる活動を行います。その際に、自分の強みに気付いたら、さらにその点を伸ばして自分の長所とすること。また今後すべきことを考え、行動計画を立てるという道筋があることも理解させました。その上で、振り返りを通して、自分を成長させるワークの4つのステップを説明しました。

ワーク2 社会人基礎力の説明 大学生活の中で社会人基礎力を高めていくための目標を考えさせる

揮し、育てられる場面であると伝えるとよいでしょう。

6. 社会人基礎力を12の能力要素ごとに説明する

「社会人基礎力」は、将来社会に出て仕事の場面で必要となるだけでなく、基礎学力や専門知識を高めるためにも有効であり、学習面も含めて大学生生活を充実させる、楽しく過ごすために必要な能力であることを伝えました。

1年次の場合、社会で働くときに必要な力を今から意識して発揮し、向上することが大事であると伝えても、就職はまだ先のことで学生にはピンとこないかもしれません。

むしろ、学習においても必要な力であり、大学生生活を有意義に過ごすことを伝えました。

スライド⑤

「じぶんチェックシート」で強み・弱みを見つけよう！			
名前		学年	学級番号
1. 基礎学力	2. 社会人基礎力	3. 専門知識	4. 人間性、基本的な生活習慣
5. 基礎学力	6. 社会人基礎力	7. 専門知識	8. 人間性、基本的な生活習慣
9. 基礎学力	10. 社会人基礎力	11. 専門知識	12. 人間性、基本的な生活習慣
13. 基礎学力	14. 社会人基礎力	15. 専門知識	16. 人間性、基本的な生活習慣
17. 基礎学力	18. 社会人基礎力	19. 専門知識	20. 人間性、基本的な生活習慣
21. 基礎学力	22. 社会人基礎力	23. 専門知識	24. 人間性、基本的な生活習慣
25. 基礎学力	26. 社会人基礎力	27. 専門知識	28. 人間性、基本的な生活習慣
29. 基礎学力	30. 社会人基礎力	31. 専門知識	32. 人間性、基本的な生活習慣
33. 基礎学力	34. 社会人基礎力	35. 専門知識	36. 人間性、基本的な生活習慣
37. 基礎学力	38. 社会人基礎力	39. 専門知識	40. 人間性、基本的な生活習慣
41. 基礎学力	42. 社会人基礎力	43. 専門知識	44. 人間性、基本的な生活習慣
45. 基礎学力	46. 社会人基礎力	47. 専門知識	48. 人間性、基本的な生活習慣
49. 基礎学力	50. 社会人基礎力	51. 専門知識	52. 人間性、基本的な生活習慣
53. 基礎学力	54. 社会人基礎力	55. 専門知識	56. 人間性、基本的な生活習慣
57. 基礎学力	58. 社会人基礎力	59. 専門知識	60. 人間性、基本的な生活習慣
61. 基礎学力	62. 社会人基礎力	63. 専門知識	64. 人間性、基本的な生活習慣
65. 基礎学力	66. 社会人基礎力	67. 専門知識	68. 人間性、基本的な生活習慣
69. 基礎学力	70. 社会人基礎力	71. 専門知識	72. 人間性、基本的な生活習慣
73. 基礎学力	74. 社会人基礎力	75. 専門知識	76. 人間性、基本的な生活習慣
77. 基礎学力	78. 社会人基礎力	79. 専門知識	80. 人間性、基本的な生活習慣
81. 基礎学力	82. 社会人基礎力	83. 専門知識	84. 人間性、基本的な生活習慣
85. 基礎学力	86. 社会人基礎力	87. 専門知識	88. 人間性、基本的な生活習慣
89. 基礎学力	90. 社会人基礎力	91. 専門知識	92. 人間性、基本的な生活習慣
93. 基礎学力	94. 社会人基礎力	95. 専門知識	96. 人間性、基本的な生活習慣
97. 基礎学力	98. 社会人基礎力	99. 専門知識	100. 人間性、基本的な生活習慣

のような行動や考え方が求められているのかを明示することになるからです。

学生達にとって、能力について振り返る最初の取っ掛かりとなるので、性格判断テストをするように気軽に組みませればよいと考えられます。記入には15分程度の時間を取り、その間は机間巡視をしながら、まずは自分のことを知ることが大切であることを伝えました。

スライド⑧

自分を成長させるために、自分と向き合う4つのステップ

- Step1. 自分が今、力を入れていることや楽しいことを思い起こし、**自分の未来をイメージしてみよう**
→社会人基礎力に関する振り返りや行動改善の計画作りなど、すべての前提となる
- Step2. **現在の自分の強み・弱みを知り**、社会人基礎力の向上をさまたげる行動傾向と向き合おう
→じぶんチェックシート
- Step3. 1・2をふまえ、学習活動や日常生活での、**自分の行動傾向の改善や伸長の具体的な行動目標やイメージを作り**、計画を立てよう
- Step4. 行動目標やイメージをどこまで実行できたか、あとで振り返って言葉で書き留める習慣をつけよう

8. 自分の行動を書き留めることの効果を説明し、自分の言葉で強み・弱みを書かせる

さらに、チェックシートではなく、自分の言葉で強み・弱みを表現させます。ここでは、「社会人基礎力」の言葉を通して、行動記述の書き方を事例的に説明しました（P354 スライド⑩）。

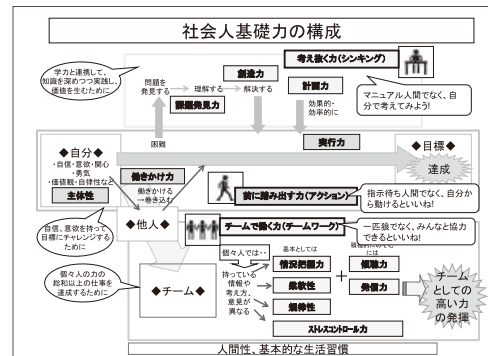
●ワークシート②（P355参照）を使い、「社会人基礎力」の「3つの力」ごとに、自分の強み・弱みを考え、そのエビデンス（根拠）となる具体例を書かせました。

●ワークシート③（P356参照）では、周りの人が自分のことをどう捉えているか、強み・弱みについて、ヒアリングすることを宿

の行動傾向の改善や伸長の具体的な行動目標やイメージを作り、計画を立てよう

・ Step4 行動目標やイメージをどこまで実行できたかを振り返って、言葉で書き留める習慣を付けよう

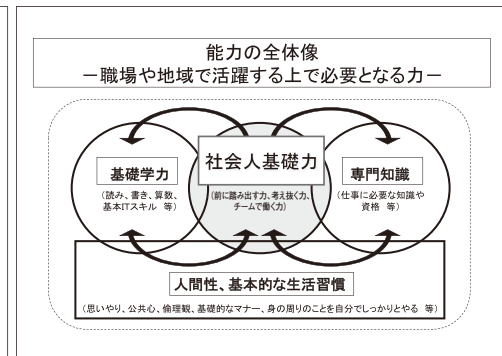
スライド⑦



ごす力にもなるのだ、というように伝えられるとよいでしょう。

その際、「社会人基礎力」は、「発揮することや経験することの結果として育つものである」ということを伝えるのがポイントです。理工系であれば、研究活動で仲間と実験をする際には、チームとして協力しながら動きます。文系でも、毎回の授業に主体的に取り組み、そこから何が本質であり、課題であるかを考えようとする姿勢が、その後の学業や仕事を含めた人生で、自らを生かすために必要であることを伝えていくわけです。さらにサークルやアルバイトなども、積極的に「社会人基礎力」を発

スライド⑥



ごす力にもなるのだ、というように伝えられるとよいでしょう。

その際、「社会人基礎力」は、「発揮することや経験することの結果として育つものである」ということを伝えるのがポイントです。理工系であれば、研究活動で仲間と実験をする際には、チームとして協力しながら動きます。文系でも、毎回の授業に主体的に取り組み、そこから何が本質であり、課題であるかを考えようとする姿勢が、その後の学業や仕事を含めた人生で、自らを生かすために必要であることを伝えていくわけです。さらにサークルやアルバイトなども、積極的に「社会人基礎力」を発

ワークシート①

自分が今がんばっていることを書いてみよう

1. 自分について振り返りましょう

①今、自分が力を入れていることは何ですか。理由も書ければ書いてください(勉強でも、それ以外でも)。	<理由>	単語ではなく、何を・どのように頑張っているかを具体的に書こう
②①で、到達したい目標は何でしょうか。いつ頃までに達成したいですか。	<いつ頃までに>	「頑張っている」ことについては、必ず「目標」をセットで聞かれる。「こうなったら目標達成」ということが明確であることが重要。
③その目標を達成するために、今、あなたがしなければならないこと、これから身につける必要があること(能力、知識など)は何でしょう。		向上心を持ってものごとに取り組む姿勢を示すこと。日常的に何に気をつけているかでもよい。
④あなたが今、本当に「していて楽しいこと」は何ですか。具体的に書いてください。		ここは本音ベースで書いてみよう。頑張りすぎず、肩の力を抜いて楽しめることは何か、自分と向き合ってみよう。

ワークシート②

自分の強み・弱みを示す具体的なエピソードを書いてみよう

2. 1の「ありのままの自分」で書いたことをふまえ、「しぶんチェックシート」や「社会人基礎力の能力要素と『はばむ行動傾向とポイント』対応表」等での行動傾向を思い起こしながら、“社会人基礎力”をもとに自分の強みと弱みを振り返ってみましょう。

社会人基礎力（自己分析）	能力	①自分にとって強みとなる「行動傾向（ポイント、能力要素等）」、弱みとなる「行動傾向（ポイント、能力要素等）」は何ですか。	②その理由は何ですか。どんな行動やエピソードがありましたか。できるだけ具体的に書いてみましょう。
	前に踏み出す力	<強みとなる行動傾向>	
		<弱みとなる行動傾向>	
	考え抜く力	<強みとなる行動傾向>	
<弱みとなる行動傾向>			
チームで働く力	<強みとなる行動傾向>		
	<弱みとなる行動傾向>		

スライド⑩

振り返りの例

一具体的にそれぞれの力が発揮されたときの行動・エピソード・場面を表現できることが重要

●前に踏み出す力「主体性」の例

・グループのメンバーと一緒にレポートを読んで自主的にまとめた。
→「『事業構想概論』のレポートをグループのメンバーでまとめた時、問題点をよりはつきりさせるために一覧表を作ったことを提案し、表の項目の抽出を自分から進んで行った。

●考え抜く力「課題発見力」の例

・「△△」について調べたとき、いろいろな資料を調べた。
→「△△」について調べたとき、同じテーマについて別の著者が書いている本や、インターネットで調べた内容と比較して、・・・であることがわかった。

●チームで働く力「発信力」の例

・発表資料を作るとき、うまく共同で作業をすることができなかった。
→チームの人と一緒に発表資料を作るとき、自分の意見をうまく伝えられないし、否定されるのがいやなので、話し合いの時は黙っていることが多かった。そのため、自分があまり気に入らない方向になってしまっ、やる気がないと思われたかもしれない。

●チームで働く力「傾聴力」の例

・他人の話をじっくり聞くように努力し、聞けるようになった。
→他人の話をじっくり聞くのが苦手で、興味が無いと話を変えたりケータイが気になったりしていたのがよくないと思ったので、打ち合わせのとき、できるだけ人の話を最後まで聞くようにしたが、それでメンバーが情報が足りないことがわかり、皆でインタビューを行う提案をした。じっくり話を聴くと、グループ活動がうまくいくとわかった。

スライド⑨

自分の行動を書き留める効果

✓ 具体的なエピソードを書くためには、日々の小さな記録が大切。書くことで自分の考えが整理でき、何が問題なのかがおのずと明らかになる。

✓ 考え方が整理され、新たな目標設定や行動の決断に有効に働く。さらに、第三者へのプレゼンテーション・コミュニケーションの質を高められる。

✓ その時は気づかなかった他の人の言葉や行動の意味を考え直すことができる。

✓ 5W1Hをふまえて書く経験は、エントリーシートだけでなく、会社に入ってからの日報やレポートを作成する際に必ず役立つ。

✓ 自分の弱みを自覚している人こそ、本当の強みを知っている。弱みの改善のための努力を重ねたことが、何よりも強みとなる。

題としました。

他の人の視点を取り入れることは、自分を理解していく有効な方法です。他者からの評価によって新たな自分に気づき、自己評価につなげていくことが、その後の自身の意欲や自信を向上させるきっかけになるのです。また、自分が意図しなかったことを言われた場合は、違う視点を与えてもらったと考えるように促します。

●ワークシート④（p356 参照）

自己分析と、他の人から見た自分の傾向を踏まえて「伸ばしたい行動傾向」「改善したい行動傾向」を書かせることにしました。「伸ばしたい行動傾向」は、行動の質をさらに上げるためには何をした

らよいかを考えさせ、「改善したい行動傾向」では、日常心掛けたいことや、具体的な改善のための行動目標を考えさせることにしました。

これらのシートは宿題として後日回収し、教員からコメントを入れて返すなどのフィードバックをします。また、ファイルさせるなどとして、継続的な振り返り活動につなげていくようにします。

◇

このガイダンスを、プロジェクト形式で問題解決を行う基礎ゼミの体験を踏まえて実施した宮城大学では、そこに振り返りの考え方を取り入れました。これによって今後の大学生活、特に学習の目標を見出し明確化していくこと、さらに「社会人基礎力」を発揮しつつ自ら高め、豊かな大学生活を送ることを目指して考えられたものです。

ガイダンスを行う際には、プログラムの内容や学生の状態に合わせ、どのタイミングで、何を目的に行うかをよく検討することが肝要でしょう。

ワークシート③

1.他者から自分はどのように見られているのか、身近な人に聞いてみよう。

3. あなたは身近な人からどのように見られているのでしょうか。身近な3人に質問してみましょう。

社会人基礎力 (身近な人から見た自分)		①強みとなる「行動傾向(ポイント、能力要素等)」、弱みとなる「行動傾向(ポイント、能力要素等)」は何ですか	②その理由も聞いてみましょう。どんな行動やエピソードによって、そのような判断ができるのでしょうか。
	【サークルの友人】	・強み 人付き合いがよく、誰とでもすぐ仲良くなる。サークル内のめんどな仕事も進んでやってくれる。明るい。 ----- ・弱み どちらかというと八方美人で、自分の話を本当に真剣に聞いているか、信じられないときがある。	〇〇大学との合同発表会の時、連絡ミスで会場の使用時間について会場ともめたときに、自分から進んで交渉役を引き受け、両方の大学が無理なく準備できるように調整した。 ----- 相手の話を聞くとき、自分の意見と違うことを言われると、「そんなこと、どうでもいいいけどさあ」とよく言ってしまう。自分ではあまり気にしていなかったが、相手はとてもいやだったらしい。
	【 ----- 】	・強み ----- ・弱み 身近な人から言われた自分の強み・弱みを書いてみよう。ここは、自分がどのように見られているかをそのまま書こう。	ここは、その理由として話してもらったエピソードを書く。自分が意図しなかったことを言われた場合は、相手の気持ちも推測してみよう。
	【 ----- 】	・強み ----- ・弱み	
	【 ----- 】		
	【 ----- 】		

だれの見ですか(例:父、祖母、高校時代の友人、アルバイト先の上司 など)

ワークシート④

2.「自己分析」と「身近な人からみた自分」のコメントをふまえ、自分なりの次の目標を立ててみましょう。

4. 2の「自己分析」および3の「身近な人からみた自分」のコメントをふまえ、自分なりの次の目標を立ててみましょう。

社会人基礎力 (自分なりの次の目標)		①伸ばしたい行動傾向(ポイント、能力要素等)、改善したい行動傾向(ポイント、能力要素等)は何ですか	②そのためにはどのようなことをしたいと思いますか。できるだけ具体的に書いてみましょう。
	前に踏み出す力	・伸ばしたい行動傾向などポイント めんどなことでも粘り強くやりぬくことができること。 ----- ・改善したい行動傾向などポイント 人に説明するのが苦手で、また頼みごとをしたら無責任だと思われるのがいやなので自分で抱え込んでしまい、仕事が多くなってかえって苦労することが多い	コツコツ取り組むことが好きだが、手順や要領はあまり意識しないところがあるので、もう少しむだのない作業ができるようにしたい。 ----- 本当に助けが必要なときは、自分の状況ややってほしいことをわかりやすく話すことを心がけ、相手にどう思われるかを気にしすぎないように。
	考え抜く力	・伸ばしたい行動傾向などポイント ----- ・改善したい行動傾向などポイント	「伸ばしたい行動傾向」は、行動の質をさらに上げるためには何をしたらよいかを書いてみよう。「改善したい行動傾向」では、日常心がけたいことや、具体的な改善のための行動目標を考えよう。
	チームで働く力	・伸ばしたい行動傾向などポイント ----- ・改善したい行動傾向などポイント	